

公表

## 事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービスNICO小松島		
保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

## 分析結果

	事業所の強み( )だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年相応に合わせた活動を検討している	中学部、高等部の利用児様には、卒業後を見据えた活動を取り入れるようにしている(就労体験、公共交通機関体験、外食体験、買い物体験等) 小学部の利用児様には、他者と協力すること、困ったときのSOS手段を身につけられるような活動を取り入れるようにしている	就労体験においては、学校での実習が難しい業種であっても体験できるように依頼をするようにしていく。 学年や年齢で活動を分けることで、自分たちで考えて行動をしなければならぬ経験ができるので、今後も続けていきたい。
2	年2回の保護者参加型イベントを開催している	開催当初は保護者様同士の顔合わせから始まった保護者参加型イベントであるが、今は進学先の情報をこれから進学する保護者様に共有する機会であったり、各学校の特徴の話であったり、同じような特性を持ったお子様の話で共感できる時間であったり、保護者様同士で話をし頂く機会となっている。 学校の懇親会のように、保護者様だけが集まる時間も設け、お子様を気に掛けることなく話ができる時間も設けるようにしている。	お子様の成長がわかる媒体の提示や、発表の機会を設けていきたい。 昼食を挟む時間帯でのイベントになることが多いので、職員からの提供だけでなく、保護者様参加の昼食提供も行っていきたい。(BBQ時、炭場にお父様方集合、調理室使用時、お母様方集合など)
3	活動の固定化	見通しを持った過ごしを目指して、事前の活動知らせだけでなく、活動の固定化を目指している。 現在は第二土曜日を「食に関する活動」(調理、食料の買い出し、外食、テイクアウト等)、最終土曜日を「翌月壁面製作」に固定している。そのため、事前の活動連絡を待たずとも、各ご家庭にてスケジュールの見通しが持てる場面もある様子。	今後は土曜日だけでなく、平日の下校後にも活動の固定化を図り、様々な経験を積めるように支援をしていきたい。 「NICOに行く」のスケジュールだけでなく「今日はNICOをする日」と自分で認識できるようなスケジュール設定をしていきたい。なるべくスケジュール変更なく活動を行っていくが、「スケジュール通りにいかない」経験も積めるようにしていきたい。

	事業所の弱み( )だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの施設ではない。	賃貸である以上、加工できる部分には限界がある。 利用児の成長に合わせた構造化を図っていかなければならない。	活動スペースだけでもフラットな環境を目指し、環境設定および構造化を図る。 支援者目線だけでなく、お子様の目線での動線を検討していかなければならない。
2	職員の意識向上	職員一人ひとりの考える療育に差異が生じている。 やりたい活動と職員配置が合わず断念することがある。	職員一人ひとりのスキルアップを目指し、参加できる研修には参加し他職員への共有を行ったり、資格取得を目指していく。 利用児の得意/苦手把握に努め、苦手なことであってもモジュールステップで取り組めるようにしていく必要がある。
3	情報発信	NICO通信、Instagramにて日々の活動情報発信を行っているが、まだまだ周知できていないことがわかった。	どの媒体で情報を得ているかは保護者様次第であるため、いろいろなパターンを考え発信していかなければならない。その際には個人情報等に気を付け発信していく必要がある。 (年度変わり時に写真使用の確認を行うようにしている)